

# 会報

夏

No.166

2014.7

一般社団法人 北海道電業協会



目 次

「都市局建築部設備担当部長着任にあたって」 ……………札幌市都市局建築部設備担当部長 佐藤之則…	1
（一社）北海道電業協会第48回定時総会	
（一社）日本電設工業協会北海道支部第58回定時総会……………	2
電業協会・電設協道支部合同懇親会……………	3
定時総会ご挨拶	
（一社）北海道電業協会 会長	
（一社）日本電設工業協会北海道支部 支部長 大房孝宏……………	4
平成26年度北海道電業協会活動スローガン……………	5
（一社）北海道電業協会役員	
（一社）日本電設工業協会北海道支部役員……………	6
就任ご挨拶	
……………東光電気工事(株)北海道支社 支社長 成瀬 薫	
……………ダイダン(株)北海道支店 支店長 柏木春彦…	7
平成26年度 技術・安全衛生基礎教育講習会……………	8
平成26年度（1級学科）電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会…	9
平成26年度安全大会……………	10
現場からこんにちは……………	11
～シリーズ～ 1/212だより	
れんがと小麦のふるさと～江別市～	
……………江別市長 三好 昇…	12～13
<small>いのち</small> 生命支える大地と海 自然と調和するまち・はまなか～浜中町～	
……………浜中町長 松本 博…	14～15
分離発注訪問記……………	16
～シリーズ～「私のいちおし」	
西山坂田電気(株)	
代表取締役会長 西山陽一……………	17
～シリーズ～「ビジネスマンはこれを読め！」	
(株)久住書房	
社長 久住邦晴……………	18
厚生委員会行事報告 ゴルフ部会……………	19
顧問会……………	20
業界だより、理事会、三役会・委員会報告……………	21～23
事務局日誌……………	24
編集後記	



# 「都市局建築部 設備担当部長 着任にあたって」

札幌市都市局建築部設備担当部長

佐藤 之 則

初夏の候、北海道電業協会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より札幌市の建築行政に係る様々な取組に対し、多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、4月の人事異動により、都市局建築部機械設備課長から設備担当部長に着任いたしました。前職では、貴協会との意見交換会を通して、色々ご意見をいただき、大変お世話になりました。今後とも貴重なご意見を賜りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いたします。

札幌市都市局では、安全・安心のまちづくりを進め、市民の皆様が快適に暮らせる市民生活の基盤をつくることを使命に、以下の3つの役割を果たしていきます。

- ①将来を見据えた良好な市街地環境の創出
- ②安全で安心して暮らせるまちづくりの推進
- ③「環境首都・札幌」実現のための環境配慮型建築物の推進

この役割を果たすため、建築部では、「市有建築物の防災機能の強化と総合的な保全の取組」「市有建築物における環境負荷低減への取組」を最重点取組項目と位置づけています。

防災機能の強化に関する具体的な取組みとしては、多くの人たちが利用し、災害発生時には避難施設などの役割を担う公共施設の耐震化を進めていますが、平成19年度より進めてきている小中学校の耐震改修が平成26年度でほぼ100%完了というところまで進んできております。また、震災時、応急活動の拠点となる施設や地域住民の避難場所としての機能を確保するために、区の施設等の耐震化の推進や非常用発電設備の設置・更新を順次進めております。

札幌市は比較的に災害の少ない街と言われておりますが、東日本大震災以降、想定外ということは許されなくなっております。安全対策については、これからも今まで以上に取組んでまいりますが、万が一の災害発生時に多くの市民の方々が利用する市有施設の応急復旧に関して、本年1月に貴協会と防災協定を締結させて頂き、心から感謝申し上げます。

次に、総合的な保全の取組についてですが、冬季オリンピックを契機に集中的に整備された市有建築物の老朽化が進み、今後一斉に建替えや更新時期を迎えることとなりますが、財政負担の軽減や事業の平準化を図り、長寿命化を進めるための総合的な保全事業を、今後も計画的に取り組んでまいります。

環境負荷低減への取組としては、札幌市が率先して、市有建築物への太陽光発電設備や木質バイオマスを燃料とするペレットボイラーなどの再生可能エネルギーの導入を進めるとともに、市営住宅や学校における断熱性能を向上させるための外断熱工法の採用、施設改修や設備機器更新に合わせてLED照明等の省エネルギー機器の採用、エネルギーの見える化の推進など様々な取組を進めていきます。

また、これらの取組の成果をパネル展やホームページ等により、市民や事業者に対して積極的に情報提供し、普及促進を図ってまいります。

このように、都市局では、安全で安心なまちづくりの実現に向けた取組を進めてまいりますので、今後とも変わらぬご指導とお力添えをお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展と組合員皆様方のご健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

一般社  
団法人

# 北海道電業協会 第48回定時総会 日本電設工業協会北海道支部 第58回定時総会



平成26年5月9日(金)午後3時30分より札幌グランドホテルにおいて、電業協会第48回・電設協道支部第58回定時総会が開催され、会員代表者のほか営業責任者等が出席した。

最初に功績者表彰を行い、大房会長から表彰状と記念品が授与された。

## ○功績者

- ・北明電気工事(株)  
代表取締役社長 松原 一郎 様
- ・北札幌電設(株)  
代表取締役社長 豊 友祐 様



役員・功績者を囲んで

開会にあたり大房会長・支部長から当業界の経営環境および協会運営についての挨拶(4ページ参照)があり「道民の生活や産業活動に貢献するため、経営の合理化はもちろんのこと、工事の安

全や品質向上のための技術研鑽に努め、会員相互の信頼と結束で事業活動を展開して行こう」と呼びかけた。

引き続き議長として議事の運営に入り、最初に議事録署名人に関場憲明氏(安達電設(株))と遠藤則夫氏(住友電設(株)北海道支店)を指名し議案の審議を行った。

- 第1号議案 平成25年度会務・事業承認について
- 第2号議案 平成25年度収支決算承認について  
会計監査報告
- 第3号議案 平成26年度事業計画(案)承認について
- 第4号議案 平成26年度収支予算(案)承認について
- 第5号議案 平成26年度スローガン(案)の採択について

当協会運営および事業実施の基本として、諸課題の克服と業界の地位向上を掲げ、スローガンが提案された。

第6号議案 役員の一部改選について

別紙(6ページ掲載)のとおり、承認された。

以上をもって、北海道電業協会の定時総会を終了した。



新・旧役員挨拶

引き続き、電設協道支部総会が開催され、支部代表者が出席した。

大房支部長が議長となり議事を運営し、議案の審議を行った。

第1号議案 平成25年度会務・事業承認について

第2号議案 平成25年度収支決算承認について  
会計監査報告

第3号議案 平成26年度事業計画（案）承認について

第4号議案 平成26年度収支予算（案）承認について

第5号議案 役員の一部改選について

電業協会役員と一体化のため、別紙（6ページ掲載）のとおり承認された。

以上をもって、電設協道支部の定時総会を終了した。

## 電業協会・電設協道支部合同懇親会



荒木設備技術対策官



高橋企画調整官



平向建築局長



高橋都市局長

両定時総会に引き続き、同ホテルにおいて合同の懇親会が行われた。

大房会長・支部長の開会挨拶に続いて、ご来賓の祝辞を北海道開発局営繕部営繕整備課設備技術対策官荒木肇様、北海道産業保安監督部企画調整官高橋毅様、北海道建設部建築局長平向邦夫様よりお言葉をいただきました。

つづいて、札幌市都市局長高橋稔様のご発声で開会となった。

また、ご来賓として、北海道経済産業局、北海

道、札幌市、(一社)北海道建築士事務所協会 (一社)北海道建築士会、(一社)北海道設備設計事務所協会、北海道電気資材卸業協同組合、(一社)日本電気協会北海道支部、北海道電気工業工業組合、札幌電気工業協同組合、(一社)札幌電設業協会など、官庁、業界団体の多数の方々のご出席をいただき、会員の皆さんと終始和やかな懇親が行われ、池田薫 (一社)北海道空調衛生工事業協会会長の中締めでお開きとなった。



## 平成26年度(一社)北海道電業協会第48回定時総会並びに (一社)日本電設工業協会北海道支部第58回定時総会開会挨拶(概要)

平成26年5月9日(金)15:30～  
札幌グランドホテル2階グランドホール

一般社団法人北海道電業協会 会長  
一般社団法人日本電設工業協会北海道支部 支部長

大 房 孝 宏

一般社団法人北海道電業協会第48回定時総会並びに一般社団法人日本電設工業協会北海道支部第58回定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、ご多忙の中、本日の総会にご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

また日頃、当協会の事業活動に対し、深いご理解とご支援を賜り、重ねてお礼を申し上げます。

ご承知のとおり景気に関しては、政権交代から1年4か月が経過し、アベノミクス効果として今、デフレ脱却、景気回復が見られるようになってまいりました。私ども電気設備工事業界におきましても公共工事の拡大などから少し明るいムードになってまいりました。

ただ、長年にわたる縮小、緊縮に耐えてきた私ども業界におきましては、若年技術者の確保・育成や資機材の高騰、また地域によっては廃業などによる事業者不足など様々な問題が生じております。

また電力の安定供給ということでは、とりわけ道内においては、泊原発が止まっている中でこの冬は、各家庭や多くの企業の節電努力により何とか厳しい状況を乗り切りましたが、火力発電所のフル稼働という状況は変わっておらず、今後とも予断を許さない状況にあります。

こうした状況下で私ども電気設備工事業界は電力の安定供給を支え、道民の生活や産業活動に不可欠な基盤の構築・整備に貢献する重要な役割を担っております。こうした役割を持続的に果たしていくためにも、経営の合理化は勿論のこと、工事の安全や品質向上のための技術の研鑽に努めて

おりますが、個々の企業の努力だけでは自ずと限界があります。

今後とも安定した工事量の確保と分離発注の推進や入札制度の改善等を通じて適正な利益の確保が図られるよう積極的な事業活動を展開して参りたいと考えております。

さて、当協会は昨年4月に一般社団法人北海道電業協会に移行しましたが、この1年間、役員一同「人と環境を大切にする夢と生きがいのある電設業界」を目指して諸事業に取り組んでまいりました。1号議案、2号議案でお諮りいたしますので、ご承認をいただきたいと存じます。

また、4号議案では、協会財産の有効活用と会員の負担軽減を図ることを目的にこれまで実施してきた会費の減額措置については、今後の協会の健全な発展に向けて平成25年度から少しずつ元に戻しており、これを踏まえて平成26年度も収支予算(案)を策定しております。後程お諮りいたしますのでご承認をお願いいたします。

5号議案では、健全で持続的な発展を目指す業界の強い意志を表した「平成26年度のスローガン」として会場前方に掲げてあります四項目を採択いただきたいと存じます。

また、役員については、今年度は改選期ではありませんが、会員企業の人事異動により若干の交替があり、6号議案でお諮りいたしますのでご承認をいただきたいと存じます。

電設協北海道支部の総会については、特別なことはございませんが、本日は二つの総会を併せて開催いたしますので、効率的な進行にご協力くださるようよろしくお願い申し上げます。

# 平成26年度 北海道電業協会活動スローガン

## 1. 優秀な人材の確保と技術・技能の継承を促進し、魅力ある職場作りで将来の電設業界の担い手を育てよう

少子高齢化が進む中で、若年入職者の減少と高齢者の定年延長等、多くの課題を抱えながら長年にわたる緊縮政策に耐えてきたが、昨年からのアベミクスによる建設投資の拡大によって、技術者不足や資機材の高騰が顕在化し、入札不調の発生や入札方法の変化など、様々な問題が発生している。

我々会員企業が今後とも健全に発展していくためには、電設業界の将来を担う優秀な技術者・技能者の確保と技術や技能の的確な継承は必要不可欠である。

そのためには、技術者の処遇や職場環境の改善などを通して業界の魅力を高め、業界全体として、優秀な人材の確保と育成に取り組んでいく必要がある。

## 2. 適正な価格・適正な工期での受注を確保し、優良な施工体制と品質で、健全で公正な競争市場を構築しよう

公共工事を中心に「予定価格が実勢価格と乖離していて、適正な利益を確保することができない」などを理由に入札不調や不落が発生している。

また、電気設備工事は、建築工程に大きく左右され、工期終盤には建築の工程遅れのしわよせが電気工事に大きくのしかかってくる。その結果、労務費の増大や過重労働による品質管理面・安全面への影響が大きな課題となっている。

より品質の高い電気設備工事を提供するため「適正な価格での受注を確保」とともに、適正な受電時期の確保に向けた取り組みを継続し「適正工期の確保」を目指す。

## 3. 品質と価格の透明性を確保し、顧客に高品質の工事を提供するため、分離発注を強力に推進しよう

分離発注は、顧客と直接対話ができることで、電気設備工事の品質とコストの関係が明確となり、アフターケア等も含めて、顧客に対して満足度の高いサービスを提供することが可能であるため、我々は一貫して主張し続けてきている。

最近では、発注者側のマンパワー不足、あるいは発注者側の事務負担量や入札不調の増加といったことから一括発注的な動きも出てきているため、引き続き、分離発注の浸透に向けた運動を推進する。

## 4. 省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組み、スマート社会の実現に貢献しよう

国内全ての原発の停止に伴い、電力の安定供給に対する制約が深刻な問題となっている中、経済・産業活動や国民生活を支えるライフラインを担う電設業界は、電力の供給事情の変化や節電ニーズに的確に対応し、現場で役立つ技術を提供するとともに、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組み、スマート社会の実現に貢献する。

一般社団法人 北海道電業協会 役員

(平成26年5月9日現在)

(新任) 〃	会長	大房孝宏	北海電気工事(株)	総務・広報各委員会担当 経営・厚生各委員会担当 技術安全委員会担当  総務委員会委員長 経営委員会委員長 広報委員会委員長 技術安全委員会委員長 厚生委員会委員長
	副会長	中野章	(株)北弘電社	
	〃	山口勉	(株)山口電気機械工務所	
	〃	野本徳明	日本電設工業(株)	
	専務理事	小川孝樹	(一社)北海道電業協会	
	理事	橋本耕二	橋本電気工事(株)	
	〃	鈴木暁彦	拓北電業(株)	
	〃	萩本哲夫	三共電気工業(株)	
	〃	岡竹俊和	(株)きんでん	
	〃	嶋津博	島津電設(株)	
	〃	小笠原憲生	(株)ドウデン	
	〃	佐藤繁男	協信電気工業(株)	
	〃	太刀川雅弘	(株)関電工	
	〃	成瀬薫	東光電気工事(株)	
	〃	西山陽一	上川電業協会	
	監事	松澤祥二	浅海電気(株)	
〃	伏木淳一	北電力設備工事(株)		
〃	伊東新一	税理士法人松永会計札幌事務所		

一般社団法人 日本電設工業協会北海道支部 役員 (平成26年5月9日現在)

(新任) 〃	支部長	大房孝宏	北海電気工事(株)	(理事)
	副支部長	中野章	(株)北弘電社	(〃)
	〃	山口勉	(株)山口電気機械工務所	(〃)
	常議員	岡竹俊和	(株)きんでん	(諮問委員)
	〃	小笠原憲生	(株)ドウデン	(〃)
	〃	佐藤繁男	協信電気工業(株)	(〃)
	〃	嶋津博	島津電設(株)	
	〃	鈴木暁彦	拓北電業(株)	(諮問委員)
	〃	太刀川雅弘	(株)関電工	(〃)
	〃	成瀬薫	東光電気工事(株)	(〃)
	〃	野本徳明	日本電設工業(株)	(〃)
	〃	萩本哲夫	三共電気工業(株)	(〃)
	〃	橋本耕二	橋本電気工事(株)	(〃)
	〃	伏木淳一	北電力設備工事(株)	
	監事	松澤祥二	浅海電気(株)	
	〃	伊東新一	税理士法人松永会計札幌事務所	
〃	伏木淳一	北電力設備工事(株)		
〃	松澤祥二	浅海電気(株)		

## 就任ご挨拶



東光電気工事(株)北海道支社  
支社長

### 成瀬 薫

初夏の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、前支社長坪田雅幸の後任として4月1日付で北海道支社長に就任いたしました成瀬薫でございます。

平素は、当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心から厚くお礼申し上げます。経験不足な面はありますが、会員の皆様のご指導を頂きながら、協会、業界の発展・繁栄に最善を尽くす所存でございますので、前任者同様どうぞよろしくお慶び申し上げます。

当社は、大正12年に創業し、平成25年11月に創業90周年を迎えました。

北海道支社は、戦前に進出し、昭和22年に北海道出張所として開設後は道内全域で内線工事・送電線工事等に携わってまいりました。

最近では、新エネルギー関連の工事にも積極的に取り組んでおります。

創業以来の伝統である『良心的な電気工事』をモットーに、これまでの経験と実績に裏付けされた技術を存分に活かして、お客様のお役に立っていきたくと考えております。

昨今、道内でも景気回復の兆しが見られる一方で、業界では各社とも人材不足に頭を悩ましていることと思います。厳しい環境下ではありますが、今後とも地域の発展に貢献できるよう最大限努力してまいり所存であります。

皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお慶びいたします。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます、新任の挨拶とさせていただきます。



ダイダ(株)北海道支店  
支店長

### 柏木 春彦

初夏の候、会員の皆様におかれましては、益々ご盛栄のことと、お慶び申し上げます。

私はこの度、4月1日付けで、前北海道支店長田中克典の後任として就任致しました柏木春彦でございます。

平素は当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、この場を借りて心より厚く御礼申し上げます。若輩者ではありますが、会員の皆様にご指導、ご鞭撻を頂きながら、協会並びに業界の発展のために微力ながら最善を尽くしてまいりますので、前任者同様宜しくお慶び致します。

当社は電気設備工事、空調設備工事、給排水衛生設備工事の総合設備業として、明治36年の創業以来多くのお客様にご愛顧を頂いており、この北

海道には明治40年に足跡を残しております。

現在は札幌に支店を置き、函館、帯広に営業所を開設しております。

私事ではありますが、秋田県の人口5万人（現在3万人）の男鹿市で生まれ育ち、人口80万人の新潟市で社会人として過ごし、人口190万人のこの札幌に単身赴任でやってまいりました。

井の中の蛙であり、初めての転勤で戸惑いも多いですが、北海道の皆様の優しく受け入れてくれる風土に感動しております。

我々建設業界を取り巻く環境は依然として厳しく、特に技術社員と作業員不足についてはどこにおいても同様の状況であります。その状況で人を確保していくには、我々自らの手で育てていかねばならないと考えております。手法は色々ありますが、「人を大切に育てる」を今期のスローガンとして取り組んでまいります。

最後になりますが、当協会の益々の発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念して、新任の挨拶とさせていただきます。

# 平成26年度 技術・安全衛生基礎教育講習会



この講習会は、新人や入社数年の若手社員への教育を目的に平成4年度から毎年実施されており、今回は17社から33名が受講した。(一社)日本電設業協会が編さんした新人教育用テキスト等を用い4月8日(火)～11日(金)の4日間、北海道電気会館502会議室において電気設備技術者の基礎となる講習会を実施した。

はじめに技術安全委員会の岡竹俊和委員長から「基本を身に付ける地道な努力を継続すること」「常に目標を持ち、その実現に向かって挑戦すること」「報告・連絡・相談を確実に実践すること」「コンプライアンス意識を高く持ち、常に公明正大な行動をすること」「国内外にかかわらず活躍できる人材になること」の5点を実践するよう求め、共に活気あふれる電気工事業界をつくっていききたいと呼びかけた。

講習会では、当協会の7人の技術安全委員が講師となり、電気設備技術者としての役割や設計・積算の基本、電気工事の施工など技術と安全に関する知識を教えた。受講生は経験豊富な講師陣の講義に真剣に耳を傾け取り組んでいた。



開講挨拶 岡竹技術安全委員長

## 【講習内容と講師紹介】

主な講習内容	講	師
電気設備概論	東光電気工事(株) 内線第二課長 佐々木 勇氏	
電気と安全、 労働災害防止	北海電気工事(株) 安全品質部課長 岡和田 久治氏	
受変電設備 材料と工具 発電設備等	北海電気工事(株) 電設工事部長代理 今野 正章氏	
設計と積算 照明設備	(株)きんでん 部長 武田 幸男氏	
配線工事の基本	末廣屋電機(株) 工事部長 太田 英男氏	
監視制御設備 情報通信設備	(株)北弘電社 担当部長 内山 優氏	
防災設備 雷保護システム	三共電気工業(株) 工務部長 澤田 博氏	

## 平成26年度（1級学科）電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会



平成26年4月21日(月)～22日(火)の2日間、セントラル札幌北ビル6階大ホールにおいて、(一社)日本電設工事業協会北海道支部と(財)地域開発研究所との共催で、(1級学科)電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会を実施した。講習会のオリエンテーションではまず1級電気工事施工管理技士について「建築業法で定められた営業所ごとに置く専任の技術者、工事現場に置く監理技術者、主任技術者となる資格要件」であり、本検定試験の資格取得は、本人は勿論のこと企業にとっても極めて重要な資格となることを説明。

講師は、それぞれの分野で活躍されている経験

豊富なベテランぞろいで、出題科目の範囲や出題傾向など適切なアドバイスを行った。

今年の受講者は62名で、6月8日の試験本番に向けて真剣に耳を傾けていた。学科試験の合格発表は7月25日で、合格者は10月19日の実地試験に臨み、来年2月6日の合格発表で晴れて1級電気工事施工管理技士となる。

今年度も全国の受験者数は2万人程度が見込まれているが、平成25年度の1級(学科)における合格率は全国平均45.8%で受験生にとっては厳しい狭き門と言える。

### 【講習プログラム・講師一覧】

	日	程	教科目	講師名
第1日目	4/21(月)	午前	9:25～12:25 (3H)	(助教授) 北海道大学大学院情報科学研究科システム情報科学専攻 田中英一氏
		午後	13:15～18:15 (5H)	(設備長) 大成建設(株)札幌支店建築部設備室 峰西一樹氏
第2日目	4/22(火)	午前	9:00～12:20 (3H20M)	(専任講師) (一社)地域開発研究所 山端良幸氏
		午後	13:10～18:00 (4H50M)	(設備課長) 大成建設(株)札幌支店建築部 北川裕章氏

## 平成26年度 安全大会



平成26年度安全大会は、(一社)札幌電設業協会と共催で6月18日(水)午後1時30分より北海道電気会館において開催された。

本年も6月1日(日)～30日(月)までを準備期間、7月1日(火)～7日(月)を全国安全週間(スローガン: **みんなでつなぎ 高まる意識 達成しよう ゼロ災害**)として実施される。

当日は、両会員企業の経営者をはじめ、現場監理技術者まで165名が参加した。

開会の挨拶で一般社団法人北海道電業協会の小川孝樹専務理事から「電気設備工事業を取り巻く環境は依然として厳しく、業界全体を支える働く方々の安全・安心と労働環境の確保を図っていくことが何より重要。是非とも労使一体となって安全活動への取り組みをお願いしたい」と参加者全員に安全意識の高揚を訴えた。

安全講話では、札幌市都市局建築部の曾我英一電気設備課長から、市内の平成25年度事故発生事例とその原因および再発防止対策などの紹介があり、同様のことがないように指導された。

交通安全講話では、北海道警察本部交通部交通企画課の屋代芳彦課長補佐から交通安全のポイントなどを、具体的な事例を交えて講話をいただいた。

閉会の挨拶で、一般社団法人札幌電設業協会の橋本佳明安全衛生委員長から、「事故は我々の油断と甘さが引き起こす。自分だけは事故を起こさないだろうという認識を捨てて、事故を起こすかもしれないという気持ちをもって運転や作業に臨んで、経営者と現場が一体となって、安全体制の確立に努めて欲しい」と力強く呼びかけた。



(安全講話) 曾我電気設備課長



(交通安全講話) 屋代課長補佐

## 現場からこんにちは



**工事名称：**(仮称) 市立札幌開成中等教育学校新築強電設備工事

**工事場所：**札幌市東区北22条東21丁目1-1、1-2

**工期：**平成25年7月29日～平成26年7月4日  
(工期12ヶ月)

**発注者：**札幌市長 上田 文雄

**請負金額：**266,595,000円

**施工業者：**協信電気工業株式会社

### 【工事概要】

校舎棟：RC造(一部S造)3階建  
延べ面積 約12,197m<sup>2</sup>

講堂武道館：RC造(一部S造)3階建  
延べ面積 約3,001m<sup>2</sup>

仮設渡廊下：S造平屋建 延べ面積 約38m<sup>2</sup>の  
新築に伴う電気設備。

### 【工種】

受変電設備、幹線設備、動力設備、電灯設備、  
屋外照明設備、太陽光発電設備

今回取材をさせていただきましたのは、(仮称)市立札幌開成中等教育学校新築強電設備工事現場において監理技術者を努めます協信電気工業株式会社、主任技術者の斉藤和義さん、現場代理人の藤田悟さんにお話を伺いました。

### 【改修に至る経緯】

札幌市教育委員会において、平成23年3月に策定されました「札幌市中高一貫教育校設置基本構想」に基づき、現在の札幌開成高等学校を改編し、平成27年4月に「市立札幌開成中等教育学校」開校のための校舎棟新築工事であります。

### 【施工の特徴】

現在の校舎棟は高等学校として、昭和38年に建設〔鉄筋コンクリート造3階建〕され、後に4回の増改築を経て現在に至っておりますが、今回工事にて全面改築を行うと共に同一敷地内に新校舎が増築されます。平成3年に建て替えられた屋内運動場は既設再利用することになっております。

今回の工事は、新校舎を建設するための強電工

事で、中高一貫校開設のため工事規模も大きなものであります。周辺住宅に対し圧迫感を与えないように考慮され、日照の影響を最小限に抑えられるよう考えられております。グラウンドは現状以上の大きさを確保すると共に、中庭(回廊)型の校舎で開放的な空間構成を創出し、照明器具等は全面LEDを採り入れております。

### 【施工の安全について】

周辺は住宅街及び小学校があり、苗穂丘珠通りに面し交通量が多く、学生の通学エリアと工事車両等の接点を最小限に分離し、周辺住宅への影響等も細心の注意を払いながら、交通事故及び工事事故等を未然に防ぐため、工事関連業者が一丸となり、さらなる安全作業を目指して、毎日の作業を進めております。

竣工まで残り1ヶ月となり、進捗率98%で他業種の取合い等もあり、現場作業は益々忙しくなって参りますが、技術者の体制強化を図り、「中高一貫教育校建設の一部をお手伝い出来ることを励みに完成に向け気を引き締め頑張る参ります」との力強い言葉を頂き今回の現場訪問を終えました。

現場作業が追い込みで大変お忙しいところ、取材にご協力頂き本当にありがとうございました。

取材 広報委員 木村 賢史、大塚 雅史



協信電気工業株式会社 (左) 斉藤さん、(右) 藤田さん



## れんがと小麦のふるさと～江別市～

江別市長 三好 昇



### ●概要

江別市は石狩平野の中央に位置し、全体的に平坦な地形で、総面積は187.57km<sup>2</sup>。鉄道や充実した道路網により道内の主要都市と結ばれているほか、空・海の玄関口である新千歳空港や石狩湾新港にも近く、恵まれた立地条件です。

また、市内には日本三大河川の一つである「石狩川」が流れ、野幌森林公園があるなど、自然環境にも恵まれています。こうした環境の良さから近年では子育てのまちとしても注目されています。

### ●沿革

江別の地名の由来は、アイヌ語の「ユベオツ」（サメのいる川）や「イ・プツ」（大事な場所への入口）など諸説あります。

明治4（1871）年宮城県涌谷領から21戸76人の農民が江別の対雁（ツイシカリ）に入地し、明治11（1878）年屯田兵10戸56人が移住し、江別村が誕生。各地から屯田兵が入地し、計画的な開拓がすすめられました。

大正5（1916）年に町制施行、昭和29（1954）年には市制が施行され江別市が誕生。昭和30（1955）年代後半から40（1965）年代にかけて、札幌市への人口集中の影響や、大麻団地の造成などで江別市の人口が急増しました。また、市内には四つの大学、食品加工センターなどの研究施設の立地、工業団地や道央自動車道の整備など道央圏の中核都市として、今年7月で市制60周年を迎えます。

### ●野幌森林公園

道立自然公園野幌森林公園は、約2,050ha（東京ドーム約440個分）もの広さを誇ります。大都市近郊の平地林として我が国では貴重な存在で、昔から手厚く保護されてきたため、今日でも原始林の面影を残しています。約110種類の自生の樹木に加え、林業試験場の見本林として植えられた60種類の樹木、140種類の野鳥、1,300種もの昆虫が確認されています。園内では広葉樹・針葉樹が入り混じり、森林浴や野鳥探索を楽しんだり、冬は歩くスキーなどを楽しむことができ、世界に胸を張れる「緑の遺産」です。



### ●北海道遺産「れんが」

江別市はれんが製造の歴史がとても古く、明治24（1891）年に操業が始まり良質の粘土が採れたことから、最盛期には15社の工場があり、日本を代表する窯業産地としての地位を築きました。

現在でも、江別産れんがは全国に流通し、また、市内には、学校、サイロ、民家、倉庫など数多くのれんが建造物が現存しています。このれんがをまちづくりに活かそうと、市も歴史的れんが建造物保存活用事業として「旧ヒダ工場」を姉妹都市グレシャムのアンテナショップとして保存・活用するなど、市民と産学官が一体となった取り組みが行われています。

このような取り組みも評価され、「江別のれんが」は平成16（2004）年に「北海道遺産」として認定。「れんがの街、江別」がアピールされ、江別のメガブランドとなっています。



### ●えべつやきもの市

「えべつやきもの市」は、JR江別駅前周辺で毎年7月第2土曜日・日曜日に開催されます。産学官の連携による実行委員会が主催し、毎回、道内の陶芸家や金属・ガラス作家、陶芸サークル、「やきもの」にこだわった飲食店など約300店が商店街に出店します。

恒例の「れんがドミノ」のほか、参加・体験型イベントなども盛り込まれ、古くて新しい「市（いち）」の雰囲気が人気となっています。



### ●江別小麦めん

収量が少ない幻の小麦として全国から注目され、需要が高まる「ハルユタカ」。タンパク質の含有量が多く、パンや麺にした時のもちもち感やコシの強さが多い「ハルユタカファン」に注目されています。市内では「江別小麦めん」として和洋中華で100種のメニューがあります。

市内の生産者が作った小麦が製粉され、製麺し、原料から商品化までの全ての工程が、江別市内で行われ、「江別小麦めん」は、地域ブランドとして「れんが」に続く、サブブランドとして注目されています。



### ●瑞穂のしずく

江別産酒造好適米「彗星（すいせい）」を100%使用した特別純米酒「瑞穂のしずく」は、質の高いお酒造りを毎年目指し、杜氏こだわりの「寒い時期を待っての少量仕込み」を行うため、スッキリしていて、特に冷やすとワイン感覚で、女性にも飲みやすいと大変好評です。





# いのち 生命支える大地と海 自然と調和するまち・はまなか ～浜中町～

浜中町長 松 本 博



浜中町 霧多布湿原

## ■まちの概要

浜中町は北海道の東部釧路支庁管内の東端に位置し、東は根室市、北は別海町、西は厚岸町に接し、東南を太平洋に面しほぼ中央に霧多布半島が形成され、厚岸道立自然公園の一角をなしています。

町の総面積は423.43km<sup>2</sup>で約67kmに及ぶ海岸線は砂浜や奇岩絶壁を有し、嶮暮帰島をはじめとする大小の無人島が点在している。南面を形成する海岸線の中央にある霧多布湿原は火散布沼や藻散布沼とあわせ『ラムサール登録湿地』に認定されているほか「霧多布泥炭形成植物群落」として国の天然記念物に指定されています。内陸部は中央を東西に鉄道が走っており、森林と農村地帯が広がり平坦な丘陵原野を形成しています。

## ■沿革と歴史

浜中町は、元禄14年（1701年）に、当時の松前藩がキイタツ場所を開いたのが始まりといわれ、明治2年（1869年）に佐賀藩から12戸の移住者などが集落を形成したのが定住者の始めとなりました。明治13年（1880年）には榑町に戸長役場が設けられ、明治39年（1906年）に霧多布ほか1町4村が合併し浜中村と改められました。

大正8年（1919年）には1級町村制を施行し、

国鉄根室本線の開通後は本格的な入植が始まり、急速に発展してきました。昭和12年（1937年）の十勝沖地震津波、昭和35年（1960年）のチリ沖地震津波と二度にわたる大津波により甚大な被害を受けたが、町民の努力により驚異的な復興を成し遂げ、昭和38年（1963年）には町制を施行し現在に至っています。

## ■「ルパン三世」による地域活性化事業

### ◆本町の観光の現状等

本町は、ラムサール条約登録湿地で北海道遺産である霧多布湿原や奇岩絶壁を有する海岸線の景勝、基幹産業である酪農業と漁業から生み出される乳製品や魚介類を含め、豊かな観光資源を有しています。

しかしながら、近年は観光客の形態も団体型から個人型へ、また観光の目的も、見る観光から目的型観光へ変化しており、本町においても平成12年以降観光客の入込みが減少傾向にあったことから、本町の有する質の高い観光資源を生かした新たな観光振興のための取り組みが必要となってきていました。

### ◆モンキー・パンチ氏との事業連携へ…

国内外にその名を馳せている「ルパン三世」。その生みの親であるモンキー・パンチ氏（本名

加藤一彦氏)の故郷が浜中町であります。加藤先生は郷土への愛着が強く、故郷への支援と協力をしていきたいとの声をいただいていたことから、平成19年のルパン三世・生誕40周年を機に、「モンキー・パンチのまんが教室」や小・中学校での講話等、本町の子どもたちとの交流にご協力をいただき、平成21年には「ふるさと大使」を任命させていただきました。

そこで、加藤先生のご協力のもと、絶大な人気を誇るルパン三世によるブランド効果を活用しながら「発見・交流・感動」をキーワードとした事業展開を行い、新たな観光資源の創造と来町機運の高揚、そして町全体の活性化と長期的な経済効果を目指すため、町とモンキー・パンチ&ルパン三世de地域活性化プロジェクトが協働し、地域再生プロジェクトとして北海道の支援を受け「ルパン三世はまなか宝島プラン」を平成23年度と平成24年度の2カ年で実施することとなりました。

#### ◆ルパン三世を活用した主な地域活性化事業（平成23年度より）

##### ★キャラクター定食（ルパン三世御膳）の開発

料理研究家 星澤幸子さんの監修と地元飲食店との共同開発により、本町の食材を活用した「ルパン三世御膳」を開発しました。来町者への地場食材のPRとともに飲食分野での着地型サービスの活性化を図っています。

##### ★車両ラッピング事業

くしろバスと霧多布中央ハイヤーのご協力のもと、車両にルパン三世キャラクターをラッピングし、ダイナミックなデザインで本町への誘客PRを行っています。また、JR北海道も花咲線のラッピングトレインを運行しております。



##### ★オリジナルグッズ開発事業

観光PRとお土産品の新開発を目的に、本町限定のオリジナルのルパングッズを開発しました。

現在は、町商工会が主体となって新たなグッズの開発に向け取り組んでいます。(Tシャツ、タオル、オリジナルステッカー、キーホルダー、クリアファイルetc)

##### ★モンキー・パンチコレクションの設置

モンキー・パンチ氏生誕の地としてのメモリアルスペース「モンキー・パンチコレクション」を、本町の総合文化センターに設置しました。作者が生み出した数々の作品群等を常設しており、その歴史や世界観を広く発信しています。



##### ★ルパンフェスティバルの開催

平成24年にはルパン三世生誕45周年にちなんで、モンキー・パンチ氏を招いて「見る・食べる・遊ぶ」の要素を取り入れながら、ルパン三世の世界を存分に満喫できるイベントを8月に2日間に渡って開催しました。(平成25年も8月に開催)

※イベント内容～モンキー・パンチ氏トークショー・サイン会、ルパン三世シアター（映画上映）、浜中町ご当地グルメフェア、ルパン三世スポットめぐりetc



## 分離発注訪問記

北海道電業協会の重点事業の一つであり、函館電設業会の事業でもある「分離発注の推進」活動を今年も行いました。4月23日、24日の2日間にわたり渡島管内10市町、桧山管内6町、また5月2日には函館市役所を始めとして市内の北海道および開発局の出先機関を平沼会長（樺電工業㈱）、田名部副会長（梶原電気工業㈱）、大倉副会長（大倉電気㈱）の3人で一緒にかつ分担して訪問し分離発注のお礼と継続、電気工事業界のPRをして参りました。

函館市はもとより渡島、桧山管内の自治体については、ほぼ100%に近い状態で分離発注が定着しており、諸先輩の永年の分離発注陳情活動の努力の成果と感ずるしだいあります。

日程的に4月23日、24日は全道の町村長会議が行われていた関係で町長にはお会いできませんでしたが、お会いできた幾人かの副町長には「今後も分離発注は継続する」とのお言葉を頂き心強さを感じました。

特に今回は北島三郎さんの出身地でもある知内町の網野副町長と親しくお話を伺う事が出来ました。知内町の主な事業として25年度は「陸上競技場夜間照明設置工事」「町民プール・子供交流センター新築工事」を分離発注で入札執行し、26年度の予定としては、「宿泊型交流施設新築工事」地球温暖化防止策の一環として役場庁舎の暖房熱源を木質バイオマスに切換えするための施設整備、役場庁舎内の照明器具のLED化等を計画しているとの事でした。

LEDに関しては電気工事業者として持ち合わせている最近の傾向や注意点を情報提供の形で話をさせて頂き、短い時間でしたが有意義な場を持つ事が出来ました。

最後に、今回の訪問に快く対応して頂いた関係者の皆様、一緒に同行してくれた役員にお礼を申し上げ訪問記とさせて頂きます。

記 函館電設業会 会長 平沼 冠三  
（樺電工業㈱ 代表取締役）



知内町役場にて網野副町長（左）にお願い文書と資料を手渡す平沼会長（右）

～シリーズ～ 「私のいちおし」

西山坂田電気(株)

代表取締役会長 西山陽一



「天金本店」



居酒屋 天金

今回は、旭川市内中心部さんろく街のど真ん中に位置する老舗料理店をご紹介します。

(株)天金さんは先代社長時代からのつき合いで、現在、五代目社長信田年武氏が経営する創業77年の日本料理店です。

お店は4階建てで大小宴会を問わずに個室形式の小上がり等、少人数でも利用可能です。

また、系列店「居酒屋天金」を社長の弟さんである専務の信田基宏氏が責任者として、その任に当たっています。



(株)天金本店信田社長(左)



今野調理士(右)

3条通り側に「天金本店」、4条通り側に「居酒屋天金」、私達、電業協会会員も宴会を催すときは、利用させて頂いております。

私は、主に3条通り側にあります「天金本店」にお世話になっておりますが、お薦めは季節に合わせた創作料理です。その中でも私が子供の頃、

窓越しに見た揚げたての天ぷら、旬の野菜、新鮮な魚介類は絶品です。



郷土天ぷら盛り合わせ

寿司カウンターには、どこのお寿司屋さんにも見られるネタケースが無いので少々戸惑いますが、お客さんの好みで握るお寿司、私には軽妙な会話をしながら飲む日本酒が、日頃の疲れを忘れる一時なのです。

旭川においでの際は、是非お立ち寄り下さい。



寿司コーナー

■「天金本店」

旭川市3条通8丁目左5号

■ランチタイム 11:30～14:00

■夜間営業 16:30～22:30

(オーダーストップ22:00)

【営業案内】

1F 寿司・天ぷら カウンター席

2F 小上がり

3F 宴会場(10名様～80名様)

4F 割烹(2名様～16名様)

仕出し(冠婚葬祭料理調達)

▷次回の「私のいちおし」は

北盛電設(株) 代表取締役社長

稲津 亘さん



# ビジネスマンは これを読め！



(株)久住書房 社長 久住邦晴

「なぜだ?!売れない文庫本」をはじめ、全国の書店に波及した「本屋のオヤジのおせっかい、中学生はこれを読め！」など独創的な企画で注目を集める、くすみ書房社長の久住邦晴氏（北海道書店商業組合理事長）おすすめの一冊をご紹介します。

## 「本屋のオヤジのおせっかい、本を読まない大人はこれを読め！」



朝日新聞にショッキングな記事が掲載されました。「1日の読書量がゼロの大学生が4割を超えた」という内容でした。「暇があればスマホ」と続きます。

驚きました。1985年との比較では倍になっているとの事。本を読まない学生は徐々に増えているのです。これはさすがにまずいだろうと思いました。

今さら読書の効用を振りかざすつもりはありませんが、思考の訓練がなされないまま社会人になる人が4割もいるというのは、恐ろしくもあります。

まったく、とか、しょうがないなあと彼らを責めたくなるのですが、実はその責任は私たちにもあるようなのです。

ある方が著書の中でこう書いていました。

出版社も書店も図書館も、本を読む習慣が既にある人には様々に本の情報を伝えてはいるが、誰

もその手前にいる人に本というものの面白さを伝えていない、と。

そうなんですね。そのせいで、本の面白さを体験していない学生が多いということなのです。

そこで「本を読む習慣がない人に本の面白さを伝えよう」と考えました。まず、読み易く、面白い本を選び12冊のリストを作りました。

始めの方は易しく、徐々に難しくしてあります。しかもただ面白いだけではなく、考えさせられる本を出来るだけ多く選びました。

毎月1冊読んで1年間かけて12冊を読むことになります。今までほとんど本を読んでこなかった人にとっては、12冊読んだということは自信になります。

1は絵本、2、3は児童書ですが大人が読んでも感動する当店のとっておきです。

4冊目からは文庫です。どれもとびっきり面白い本ばかりです。しかも読み易いので疲れた大人たちでも大丈夫。元気が出る本ばかりです。何かの参考になればと、今回はいつもと違う切り口でご紹介いたしました。本を好きになれば、人生が豊かになりますよ。

	書名	出版社	定価
1	木を植えた男	あすなろ書房	1,728
2	種をまく人	あすなろ書房	1,296
3	川の上で	徳間書店	1,296
4	僕とおじいちゃんと魔法の塔①	角川文庫	473
5	夏の庭	新潮文庫	464
6	光の帝国 常野物語	集英社文庫	535
7	神去なあなあ日常	徳間文庫	669
8	家守綺譚	新潮文庫	432
9	希望の国のエクソダス	文春文庫	720
10	のぼうの城	小学館文庫	各494
11	そして誰もいなくなった	ハヤカワ文庫	821
12	熊撃ち	小学館文庫	689

# 厚生委員会行事報告



第1回大会 スタート前

## 第1回ゴルフ会 平成26年5月14日(水) 札幌北広島ゴルフ倶楽部 参加者33名

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	木村 賢史	道タツヲ電気	50	43	93	26	67
準優勝	小野寺涼一	大成電気	42	41	83	10	73
3位	枝並 秀喜	電業協会	48	36	84	8	76
4位	中鉢 征	三共電気	45	49	94	18	76
5位	橋本 佳明	橋本電気	48	50	98	22	76
6位	松原 一郎	北明電気	42	41	83	5	78
7位	桜庭 謙次	北電力設備	47	45	92	13	79
8位	稲津 亘	北盛電設	48	45	93	14	79
9位	三好 裕一	札幌機電	49	45	94	15	79
10位	赤松 博昭	北陽電材	52	45	97	18	79

### (特別賞)

B	G	小野寺涼一	大成電気
平	賞	能登 真	札幌機電
大	賞	森 等	石垣電材
小	賞	脇坂 裕一	北弘電社
B	賞	中川 涉	道ジーエス・ユアサ
ラ	賞	荒川 正一	札幌日信
ッキー	賞	小野寺涼一	大成電気
N	P	橋本 佳明	橋本電気
N	P	桜庭 謙次	北電力設備
N	P	加藤 定義	北盛電設
N	P	龍広	北海電気
N	P	松澤 祥二	浅海電気
N	P	荒川 正一	札幌日信



第1回大会優勝者 木村さん(右)豊部会長(左)

## 第2回ゴルフ会 平成26年6月11日(水) 札幌芙蓉カントリークラブ 参加者25名

順位	氏名	会社名	中	南	GROSS	HC	NET
優勝	桜庭 謙次	北電力設備	44	41	85	13	72
準優勝	浦本 泰男	振興電気	49	47	96	18	78
3位	山口 邦治	山口電気	49	53	102	24	78
4位	稲津 亘	北盛電設	45	48	93	14	79
5位	木村 賢史	道タツヲ電気	46	49	95	16	79
6位	須貝 勝壽	亜細亜電気工事	49	44	93	13	80
7位	矢田 彰	北弘電社	47	44	91	10	81
8位	吉田 岳夫	北海電気	48	45	93	12	81
9位	三好 裕一	札幌機電	50	46	96	15	81
10位	庄田 修身	データ電建	52	50	102	20	82

### (特別賞)

B	G	桜庭 謙次	北電力設備
平	賞	水越 孝行	でんこう
大	賞	渡辺 広裕	東光電気
小	賞	住本 邦裕	タツヲ電気
B	賞	加藤 正志	旭日電気
ラ	賞	枝並 秀喜	電業協会
ッキー	賞	木村 賢史	道タツヲ電気
N	P	須貝 勝壽	亜細亜電気工事
N	P	庄田 修身	データ電建
N	P	枝並 秀喜	電業協会
N	P	松原 一郎	北明電気
N	P	豊 友祐	北札幌電設
N	P	山口 勉	山口電気



第2回大会優勝者 桜庭さん(左)山口副会長(右)

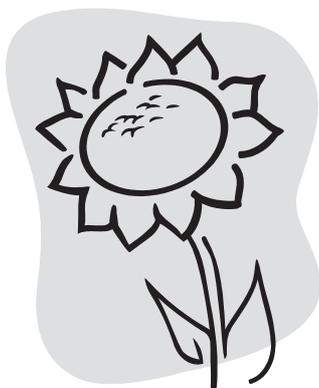
# 顧問会

平成26年5月7日(水)午後5時から、ほくでん北二条クラブにおいて、今年度の顧問会を開催した。当日は吉川顧問、当協会からは、大房会長、中野、山口、樋口副会長、小川専務理事、枝並事務局長等が出席した。

最初に大房会長から挨拶があり、常日頃から当協会運営に対してご理解・ご支援に謝辞を述べられた後、当協会の現状について説明した。

引続き、事務局から5月9日開催予定の通常総会の議案書に基づき、平成25年度事業報告、新役員（案）などについて報告。

吉川顧問からは、今後の協会運営に対して貴重なご意見やご提言をいただき、今後の活動の一助とすることにしました。このあと、懇談会に入り、いつもながらの時事放談や健康談義に花が咲き、和やかなうちにお開きとなった。



## 業界だより

### 【法人職務執行者の変更（平成26年4月1日）】

- 東光電気工事(株)北海道支社  
（新）支社長 成瀬 薫  
（旧）支社長 坪田 雅幸
- ダイダン(株)北海道支店  
（新）支店長 柏木 春彦  
（旧）支店長 田中 克典

### 【所在地・連絡先の変更（平成26年6月9日付）】

- 東邦電気工業(株)北海道支店  
（新）札幌市中央区北6条西18丁目1-13  
TEL 011-805-1040 FAX 011-805-1118  
（旧）札幌市東区北24条東3丁目3-10  
TEL 011-722-0171 FAX 011-722-5021

## 理事会・委員会報告

### || 理 事 会

◇平成26年4月25日(金) 12:00~13:30

#### 第1回議題

##### 【協議事項】

1. 電業協会第48回定時総会付議事項について
2. 電設協道支部第58回定時総会付議事項について
3. 役員の一部改選（案）について
4. 電業協会第48回・電設協道支部第58回定時総会の進行（案）について
5. 定款21条第5項の規定に基づく職務執行状況の報告について  
以上提案どおり承認された。

##### 【報告事項】

1. 電設協道支部第64回定時総会の開催等について
2. 平成25年度第2回運営協議会の開催結果報告について
3. 平成26年度技術・安全衛生基礎教育講習会（新人研修）の開催結果について
4. 会員代表者の変更について
5. 北海道電気資材卸業協同組合定時総会懇親会のご案内について
6. 平成26年5月~6月行事予定について
7. その他意見交換

以上概要を報告（小川専務理事）

◇平成26年6月20日(金) 12:00~13:30

#### 第2回議題

##### 【協議事項】

1. 平成26年度役員会等の日程について
2. 平成26年度常設委員会の体制と事業実施計画について
3. 平成27年度電設協会員大会に向けた対応について  
以上提案どおり承認された。

##### 【報告事項】

1. 本部255回政策委員会の概要報告について
2. 北海道の建築工事に係る合同研修会の開催について
3. 平成26年度札幌市電気設備施工研修会の開催について
4. 平成26年度安全大会の概要報告について
5. 平成26年北海道赤レンガ建築賞第1回実行委員会の開催結果について
6. 会員企業の支店移転に伴う所在地等の変更について
7. 平成26年6月~8月行事予定について
8. その他意見交換

以上概要を報告（小川専務理事）

## || 三 役 会

◇平成26年4月14日(月) 12:00~13:00

### 第1回議題

1. 電業協会及び電設協道支部定時総会に向けた準備進捗状況報告について
2. 平成25年度収支決算書（電業協会、電設協道支部）について
3. 電業協会第48回・電設協道支部第58回定時総会の進行（案）について
4. 顧問会議の開催について
5. 平成25年度第2回運営協議会の開催報告について
6. 平成26年度技術・安全衛生基礎教育講習会の開催報告について
7. 電設協道支部第64回定時総会の開催について
8. 電設協第4回諮問委員会の開催について
9. 代表者の変更について
10. 平成26年4月～5月行事予定について
11. その他意見交換

◇平成26年5月7日(水) 15:30~16:30

### 第2回議題

1. 電業協会第48回・電設協道支部第58回定時総会の進行要領等について
2. 顧問会の開催について
3. 札電協第64期通常総代会懇親会開催のご案内
4. 平成26年5月～6月行事予定について
5. その他意見交換

◇平成26年6月9日(月) 12:00~13:30

### 第3回議題

1. 平成26年度役員会等の行事日程について
2. 平成26年度の常設委員会の体制について
3. 本部第255回政策委員会の概要報告
4. 平成26年度北海道の建築工事に係る合同研修会の開催について
5. 平成26年度安全大会の開催について
6. 平成27年度電設協会員大会の開催に向けて
7. 会員企業の支店移転に伴う住所等の変更につ

いて

8. 平成26年6月～7月行事予定について
9. その他意見交換

## || 総務委員会

◇平成26年6月6日(金) 12:00~13:30

### 第1回議題

1. 副委員長の選任及び平成26年度総務委員会の体制（案）
2. 平成26年総務委員会事業実施計画
3. 平成26年経営者懇談会の開催（案）
4. 北海道の建築工事に係る合同研修会の開催
5. その他意見交換

## || 経営委員会

◇平成26年6月5日(木) 12:00~13:30

### 第1回議題

1. 第6回議事録の承認
2. 電設協 第255回政策委員会の開催概要
3. 平成26年度経営委員会委員確認
4. 平成26年度経営委員会事業計画（案）
5. 北海道の建築工事に係る合同研修会の開催
6. その他意見交換

## || 広報委員会

◇平成26年6月19日(木) 15:00~17:00

### 第1回議題

1. 平成26年度委員会委員確認
2. 平成26年度事業実施計画
3. 会報「秋号」の編集方針（案）
4. 会報「夏号」の校正
5. その他意見交換

## 技術安全委員会

◇平成26年 6月13日(金) 12:00~13:00

### 第1回議題

1. 平成26年度技術安全委員会委員確認
2. 平成26年度事業計画(案)
3. 実施報告
  - ・平成26年度技術・安全基礎教育講習会
  - ・平成26年度1級学科電気工事施工管理技術  
検定試験受験準備講習会
4. 平成26年度安全大会の開催
5. 平成26年札幌市電気設備施工研修会の開催
6. 平成26年度登録電気工事基幹技能者認定講習  
会
7. 電気工事現場見学会の開催日程・見学先
  - ・技術系学校先生との見学会、懇談会
  - ・技術系学校学生との見学会
  - ・協会の現場見学会
8. 技術講習会テーマ選定
9. 工事現場安全パトロールの開催、日程
10. その他意見交換

## 厚生委員会

◇平成26年 6月12日(木) 12:00~13:30

### 第1回議題

1. 平成26年度部会幹事確認
2. 平成26年度部会実施計画
3. 平成26年度予算
4. その他意見交換

## 事務局日誌

4月8日(火)～11日(金)

・平成26年度技術・安全衛生基礎教育  
講習会

(電気会館)

14日(月)・第1回三役会議

16日(水)・監事監査

17日(木)・札幌電設業協会定時総会

懇親会 (東京ドームホテル)

小川専務理事

21日(月)～22日(火)

・1級電気工事施行管理技術検定試験  
受験講習会

(北海道開発協会)

22日(火)・本部第313回運営委員会

大房支部長

23日(水)・本部理事会

大房支部長他

25日(金)・第1回理事会・常議員会

5月7日(水)・第2回三役会議

・顧問会議

(北2条クラブ)

9日(金)・第48回北海道電業協会総会

・第58回電設協北海道支部総会

同上懇親会

(札幌グランドホテル)

14日(水)・第1回ゴルフコンペ

(北広島ゴルフクラブ)

・日本電設工業協会第64回定時総会

大房支部長他

(ホテルグランドパレス)

15日(木)・北海道電気資材卸業協同組合通常総  
会、懇親会

山口副会長

(札幌ガーデンパレスホテル)

22日(木)・本部第255回政策委員会

山口理事

・建設業労働災害防止協会役員会

小川専務理事

(北海道建設会館)

27日(火)・日本電気協会北海道支部総会

枝並事務局長

(札幌グランドホテル)

30日(金)・歌唱部会

(アンジュ)

6月5日(木)・第1回経営委員会

・札幌市業界団体連絡協議会総会

(北海道経済センター)

小川専務理事

9日(月)・第3回三役会議

・北海道開発局のコンプライアンス強

化計画説明会 (協会会議室)

大房会長他

・第2回ゴルフ部会

10日(火)・北海道赤レンガ建築賞実行委員会

(赤レンガ会議室)

小川専務理事

11日(水)・第2回ゴルフコンペ

(札幌芙蓉カントリークラブ)

12日(木)・第1回厚生委員会

13日(金)・第1回技術安全委員会

16日(月)・建設産業専門団体北海道地区連合総

会 (第一ホテル)

小川専務理事他

18日(水)・安全大会

(電気会館)

小川専務理事他

19日(木)・第1回広報委員会

20日(金)・第2回理事会・常議員会

## 編集後記

今夏号の巻頭言に、札幌市都市局建設部設備担当部長の佐藤之則様から、「さっぽろ」の将来を見据えた街づくりのため、防災面から、保全面から、更に環境面を配慮した取り組みの骨子をご紹介いただきました。

安全かつ安心して暮らせる基盤づくりのため、ご指導方よろしく願いいたします。

ところで「失敗学会」が平成14年に設立されて早や12年、私がこの学会に入会して11年が経過しました。私自身、少なからず多くの失敗を経験しましたが「人間は過ちをする動物である」との言葉に救われています。

自ら起こした失敗はよく効く薬になりますが、他人の起こした「失敗」という貴重な『財産』を「他山の石」とすることもまた重要です。しかしながらこの「他山の石」も、書面という活字だけでは、自分自身に置き換え活かしきれないのも、また人間。

「体験してはじめて気がつくんだよな！」とは「相田みつを」さんの言葉ですが、「自分の身の回りの失敗でない限り、なかなか真剣に考えられない」ということもまた事実です。

弊社（株）ドウデン）ではベテラン社員と若手社員の年齢構成上のgapも大きく、相互の意思疎通に苦慮しています。私も含めて、ベテラン社員が「自分の失敗を若手社員に伝えることが技術継承に繋がる」との強い思いを持ち続けること、このことがまさに『The遺産』であり、そのような社風の形成に努めてまいりたいと考えています。

広報副委員長 小笠原 憲生



発行 平成26年7月  
一般社団法人 北海道電業協会  
札幌市中央区南1条東1丁目3番地  
パークイースト札幌6階  
TEL (011)271-2932  
FAX (011)271-2952  
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp